



南あわじ市社会福祉協議会



ボランティアセンターだより

2022年5月 No. 162号

架け橋パントリーへの ご協力ありがとうございました

3月末の「架け橋パントリープロジェクト(食材無料配布)」の開催にあたり、食材のご寄附や精米作業、食材の箱詰め、当日の運営など、多くのボランティアさんにご協力をいただきました。みなさまのお陰で、無事にお申込みいただいた方に食材をお届けすることができました。次回は8月頃の開催を予定しています。



バザー
販売品物
大募集!

ご家庭にある購入したけれど
使っていないものや
眠っているものをお譲りください!

募集品物例として...

(品物は全て新品または新品同様のもの)

- ★日用雑貨
- ★マスク
- ★生活必需品
- ★文具・タオル
- ★掃除用品
- ★台所・調理用品

お手数ですが、下記までお持ちください。



集めた品物は、7月30日(土)に予定している「赤い羽根ひよっこバザー」で活用させていただきます。バザーの詳細は来月号でお知らせします♪



物品寄附時の

注意



プルタブは、ペットボトルなどには入れず、取り出しやすい袋や段ボールなどに入れてください。



古切手は、消印の周りを1cm程度残して切ってください。



プリペイドカードは、使用済みのもので構いません。



実は私こんなん得意やねん♪

みなさんの「こんなんできるで〜」「これは得意やねん!」をぜひ社協まで教えてください!

カメラが得意!



コーヒー
淹れるのが得意♪

ネイルできるよ!



ハーブが好き



パソコンなら任せて!



大事にしたい **淡路弁**

すだる

衣服やなどがずり落ちること。
例) ズボンがすだってきよる。
(ズボンがずり落ちてきている)

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp





こんなところにも!?

どうしてここに!?



「行け! MEN's」発見
阿万「阿万海岸海水浴場」

(イケメン)

集まれ! 行け MEN's

男の人が「サロンに来ない!」などと聞かれることもありま
すが、実は男性もいたるところで集まっておしゃべりしてい
るようです。そんな男性のゆるやかな集まる場のご紹介!



暖かな春の日差し、のたりのたりと寄せる波、時々頬を撫でる風に桜の花びらがふわりふわり。そんな穏やかな、のんびりとした4月の晴れた日のお昼前、阿万西町にある阿万海岸海水浴場の建物の横手に三人の男性が居ました。お一人が、「また昼から来るわ」と自転車に乗って帰って行かれました。

海岸の建物の横手には、椅子がいくつか置かれ、お二人の男性が座っておられました。暖かい日差しを受け、実に気持ちよさそうです。聞けば、いつも入れ代わり立ち代わり5~10名ほどの近所の男性が寄ってお話をしているというではありませんか。お話しているとすぐに、またお一人訪れました。「ここには一年中來とる」「暑うなったら、向こうの影のところで座とる」「冬でも暖かいで」「おんなじことばかり言うて居るけどな」と男性ならではのゆったりとした会話で、この集いの場の事をお話してくださいました。年齢も様々、でも、お互いのことはよく知っているご近所さん。「この人は料理が得意やねんで」と得手もご存じ。ここは、



日中顔見知りの男性たちが日がな一日、何気ない会話を楽しむ男性の集いの場でした。名付けて「阿万西町『イケメンズの集い』」です。

「昔はな、この浜は、『見合いの浜』言われとったんやで」と、お一人が教えてくれました。阿万海岸は、今でもウミホタルの生息地ということで、夜は幻想的な浜になり、恋が芽生えるきれいな浜が存在するようです。次回はじっくりと昔話を伺いに、また阿万海岸を訪れようと思いました。

ボランティアグループ
「亀岡若葉会」

こいのぼりに託した思い



阿万上町、本庄川の上に何列ものこいのぼりがあがっています。川上を吹く南からの風(真風)を、大きな口でいただき、悠々と泳いでいます。老人福祉センター亀岡荘の上方にある大師庵から本庄川を渡る橋に至るまで、たくさんの提灯が飾り付けてあり、満開の桜も相まって気分を高揚させてくれます。川では、春休み中の子どもたちが遊び、なかなか絵になる光景です。

このお世話をしているのは、「亀岡若葉会」というボランティアグループです。「こいのぼりを大規模に掲げることにより、子どもたちに明るい夢と希望、たくましく生きる力を持ってもらい、あわせて大師山公園、本庄川周辺の環境美化と地域の活性化に貢献したい」との思いで、平成17年に設立されました。会員の方に「先輩から受けつぎ、今に至っている」と活動の歴史を語っていただきました。こいのぼりはお家で役目を終えたものを譲り受け、ワイヤーで川をまたいで泳がせています。大師堂への道を飾るカラフルな提灯は、地元の阿万商工会が携わってくれているそうです。

こいのぼりは、子どもの成長を願ってあげるものだと言われています。このような地域のみなさんの思いを吸い込んで、本庄川の上を元気に泳いでいます。また、来年には、老人福祉センターにお雛様を飾る予定もあるようです。こいのぼりや五月人形、雛人形など役目を終えた後で、行き場を探している方は、亀岡若葉会の方にお問い合わせしてみてください。

